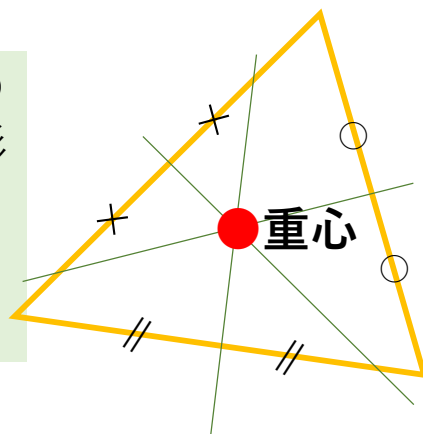


図形のバランスがとれる点のことを**重心**といいます。三角形の場合、各辺の中間地点から、その辺に垂直な直線を引くと、それらが交わる点が重心です。

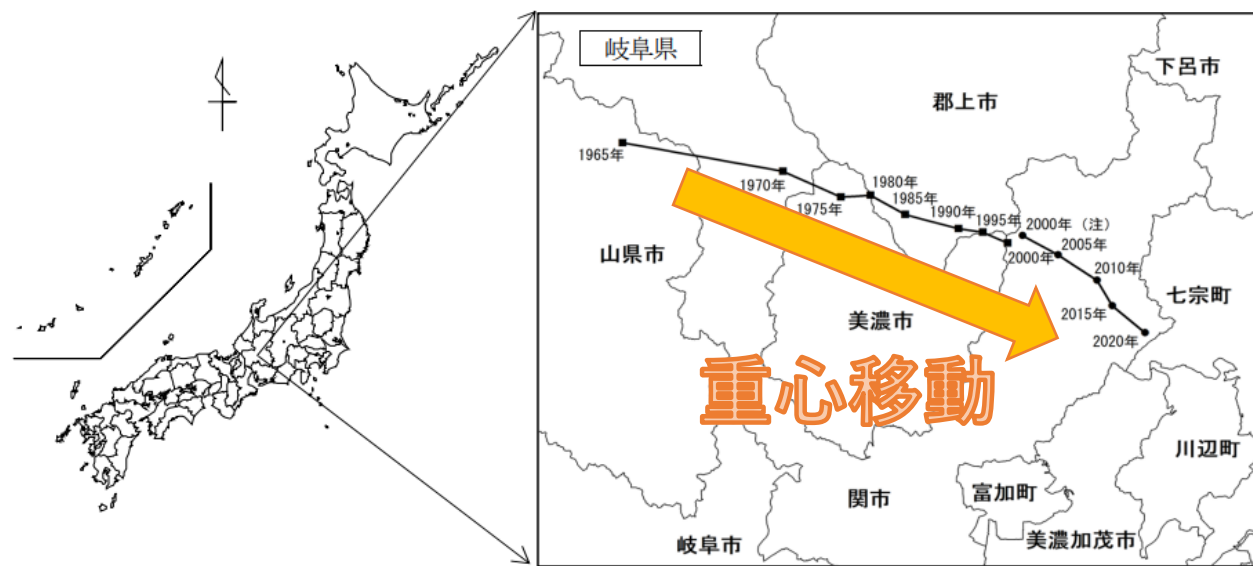


この重心の考え方を応用し、住民一人ひとりの住所地を点としてとらえ、釣り合いがとれるところを**人口重心**といいます。よって、人口重心は**全ての人が1番集まりやすい場所**と考えることができます。

人口重心は俗に「へそ」と呼ばれ、たとえば、日本の人口重心は**日本のへそ**ともいいます。

日本と栃木県の人口重心は総務省が**国勢調査**の結果を基に発表しています。2020年の日本の人口重心は**岐阜県関市**にあります。右図のように、**少しずつ東へ向かって移動**しています。

郡上市にある**日本まん真ん中センター**は、1995年の日本の人口重心が郡上市にあったことにちなんで建てられた施設です。



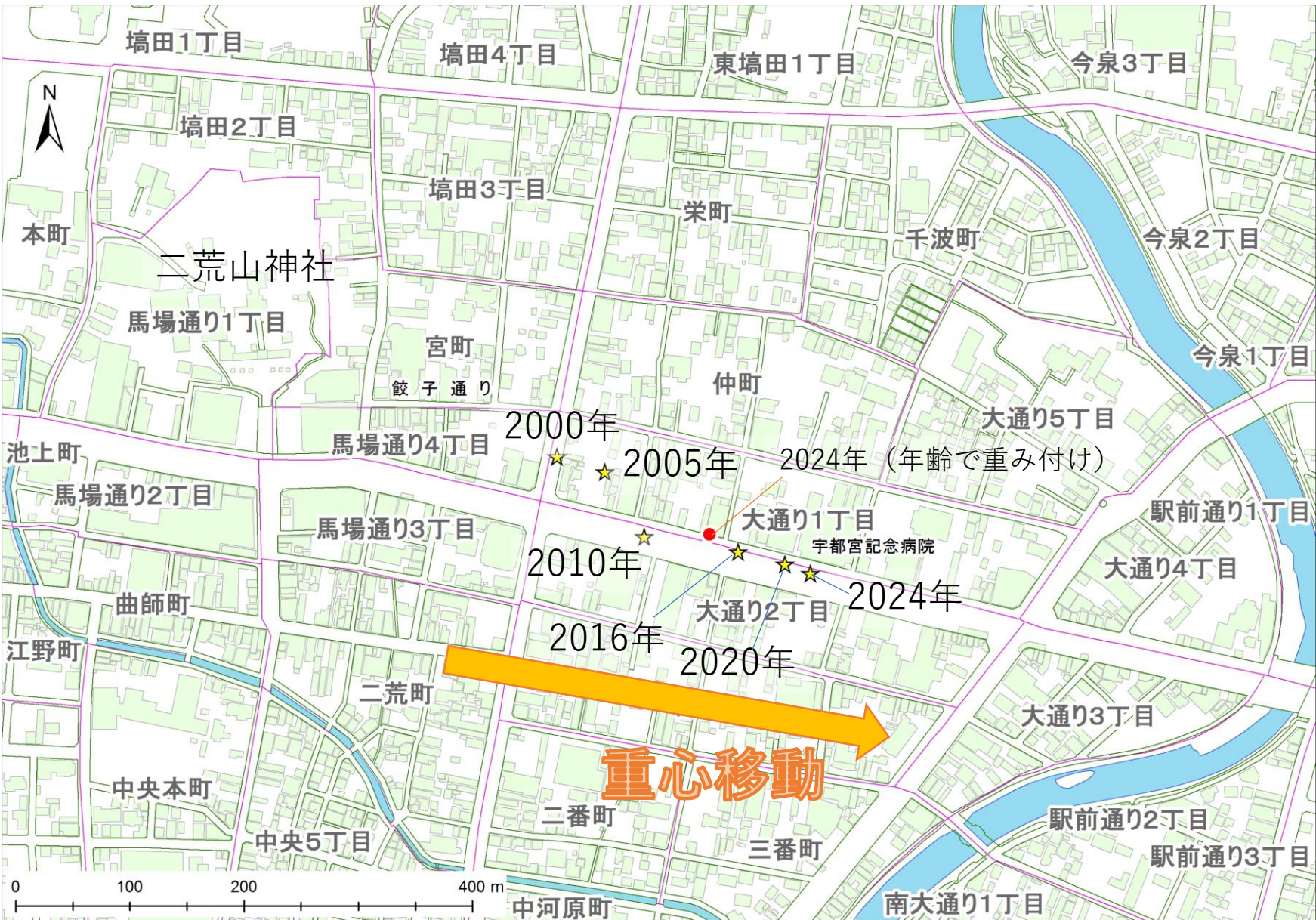
栃木県の人口重心は2020年現在、**宇都宮市上欠町**にあります。少しずつ**東京に向かって南下**しています。

それでは、宇都宮市の人口重心はどこにあるのでしょうか？

図 日本の人口重心（日本のへそ）の移動

総務省報道資料「わが国の人口重心ー令和2年国勢調査結果からー」

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/topics/pdf/topics135.pdf> (2025年4月10日取得) に加筆



2000年の人口重心は、宮島町十文字の北東付近にありましたが、**2024年**には南東へおよそ250m動き、宇都宮記念病院の前になりました。

宇都宮駅東側のマンション開発等により、市民の居住地が**ゆっくりと東へ移動**していることがわかります。

重心には**重み付け**をすることもでき、たとえば市民の**年齢**で重み付けして人口重心を計算すると、**赤色の点**（大通り1-2-11）になります。

|            |          |
|------------|----------|
| データ        |          |
| 2000～2010年 | 国勢調査人口   |
| 2016～2024年 | 住民基本台帳人口 |

